

《8/6(火) 12:00～14:55 生放送》

おひる一な特別編 戦後74年 海をわたるヒロシマ

在外被爆者の声を後世に伝えていく、被爆74年

RCCラジオでは8月6日(火)正午から、ワイド番組おひる一な特別編「戦後74年 海をわたるヒロシマ」を生放送でお送りしました。

番組では広島における移民の歴史や、原爆投下後からふたつの国のはざままで揺れる在外被爆者の声を聞き、次世代へ「ヒロシマ」を語り継いでいくためにどうしたらいいかを、番組パーソナリティの、おだしずえさんと山根良顕(アンガールズ)さん、詩人のアーサー・ビナードさんと語りました。ハワイやアメリカで暮らす方たちに在外被爆者が抱える社会・生活問題と、戦後どう生きて来たのかを聞くとともに、在外被爆者としてカナダで被爆証言を語るランメル・幸さんの活動を聞き、次世代へヒロシマを、どう伝えるかを考える時間になりました。



■リスナーに『ヒロシマ』をどう伝えるか?や、在外被爆者をもつ方、日系被爆者からのお便りも受け付けました。



■14時台は日系2世の小倉桂子さん(元・原爆資料館館長の妻)をスタジオに迎えて、平和のためのヒロシマ通訳者グループを立ち上げた小倉さんに、被爆証言を英語に訳して伝える活動とこれからヒロシマをどう伝えて行くかについて聞きました。